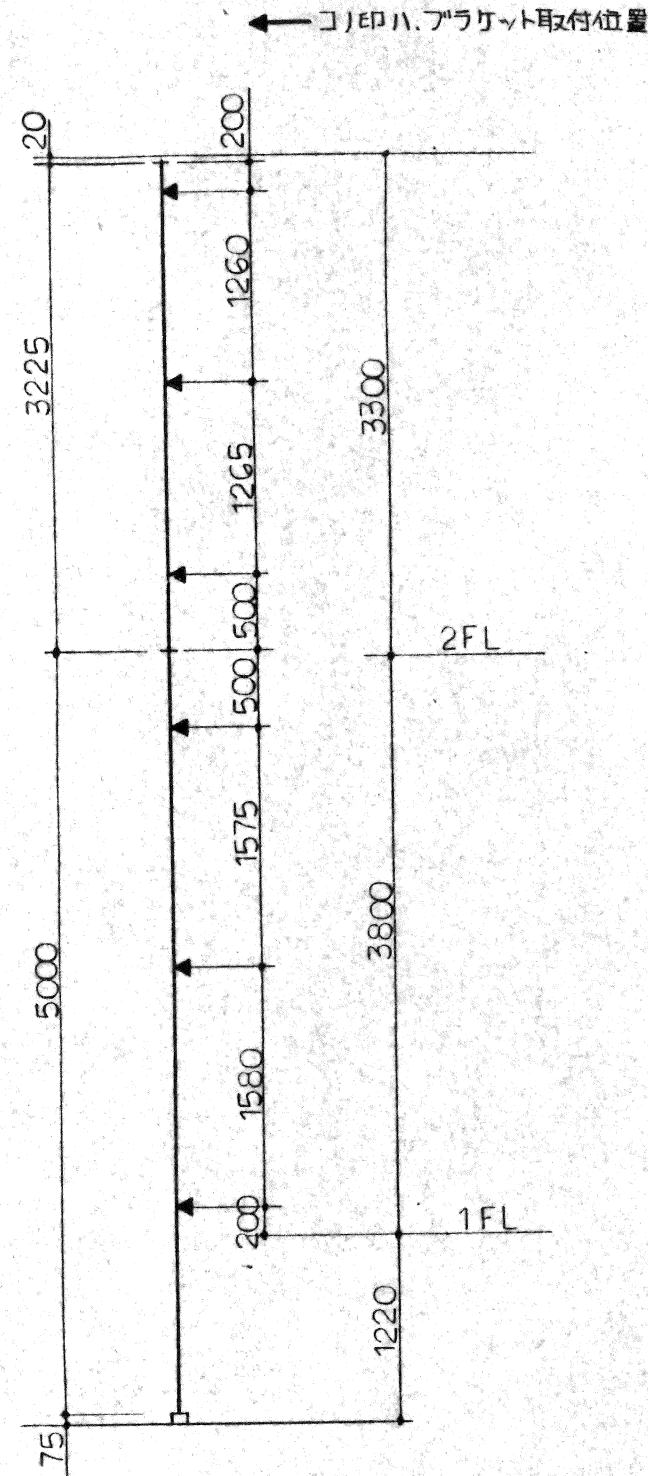


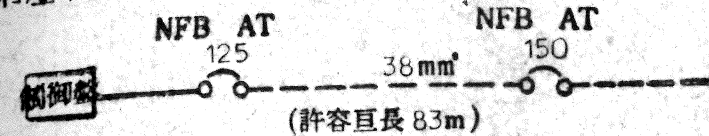
左上



カゴレール側レール立及び中間ビーム配置図 S: 1/50

(電気工事施工)
電源引込位置

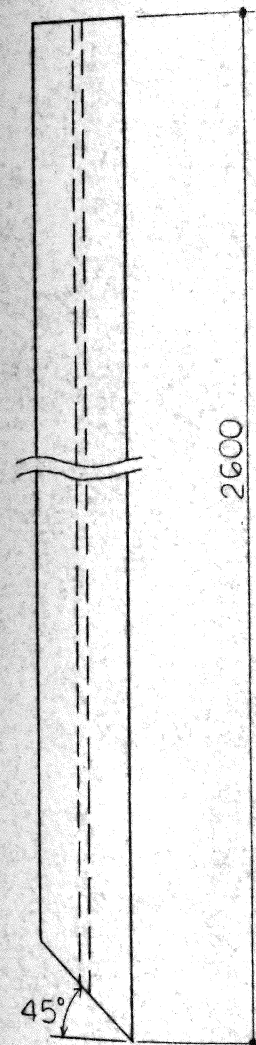
(P1) 1. 動力電源 3φ 210V 60HZ 24.5KVA
天井立下リ FL+1.30m, 口出線 0.75m



2. 第3種接地線 8mm²

手配: 建築工事

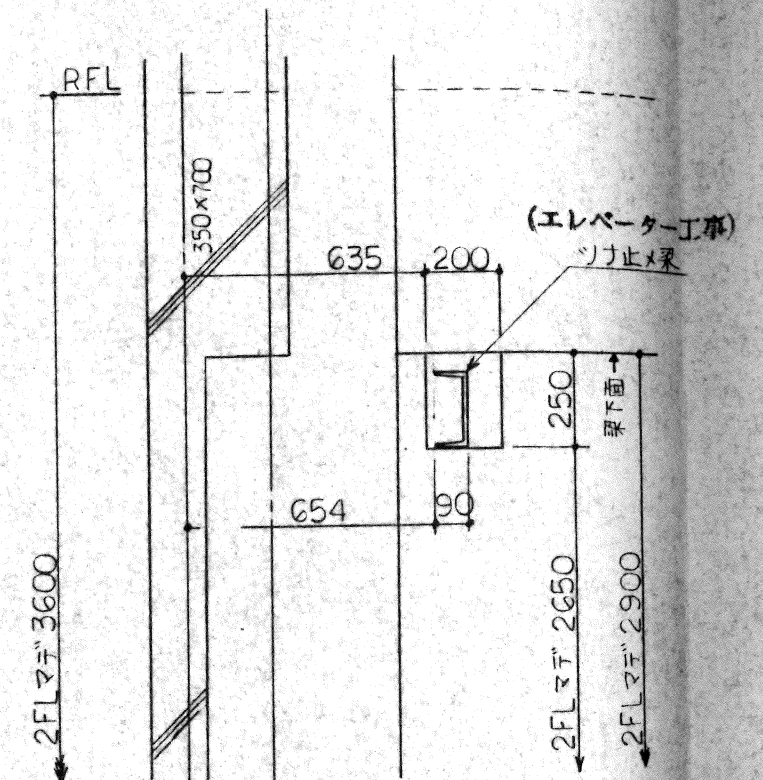
材質: H 125×125×6.5×9



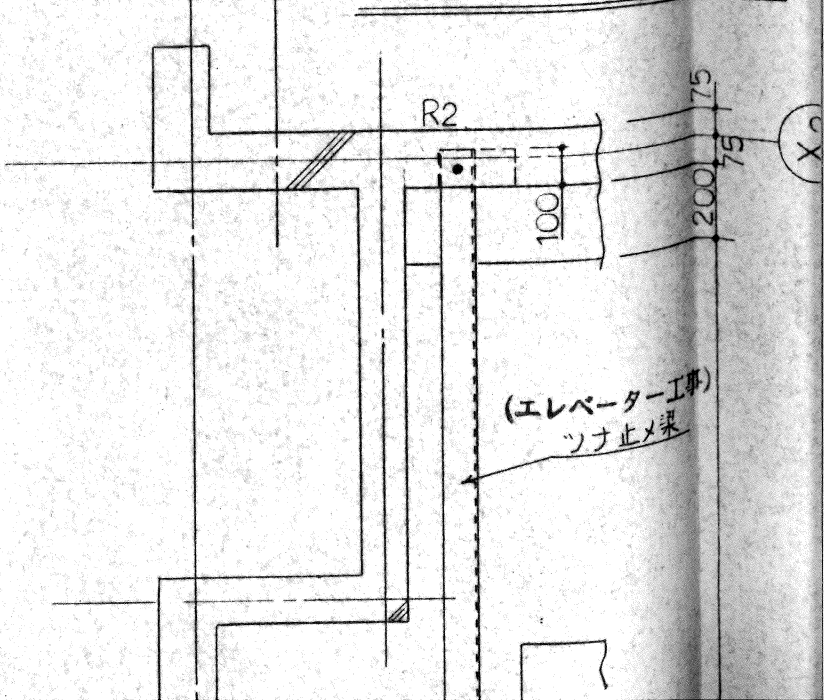
中間ビーム手配図

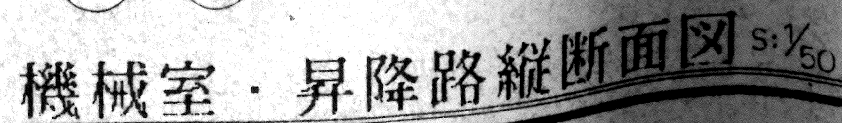
(P2) t

1. 信号・照明電源 1φ 100V 60HZ 1.5KV
天井立下リ FL+1.30m, 口出線 0.75m
線サイズ 2mm
2. エレベーターインターホン用電線の配管
0.9mm²×10本 (F: 事務所)
制御盤 ←
3. 遠隔監視サービス機能用電話線の配管・
〔機械室から最寄りの電話機まで〕
配管は直径19mm以上, 配線は0.9mm²×2本



矢視 A-A S: 1/20





ビット面二 柱ハナ締重	ビット面二 柱ハナ締重	ソナ止ム梁
RJ	R3	R1
4100kg	3700kg	1905kg

1φ 100V 60HZ 1.5 KVA
FL+1.30m, 口出線0.75mm²
2mm

ターホン用電線の配管配線
本 1F: 事務所

機能用電話線の配管・配線工事
（支線の途中継ぎまで）
上、配線は0.9mm²×2本

エレベーター工事
止メ梁

止メ梁

2FLマデ 2900

A s: 1/20

ターホン
止メ梁

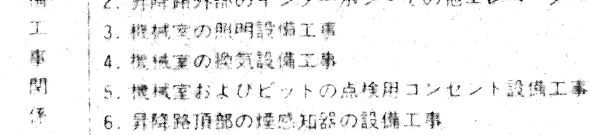
機械室平面図 s: 1/20

矢視 B-B s: 1/20

エレベーター仕様要項			右上
号機名	01 号機		
用途	寝台用 (車椅子兼用)		
制御方式	油圧サイドプランスジャー方式		
操作方式	セレクトプ・コレクタプ		
積載荷重	750kg・最大定員	11名	
速度	45m/min		
電源	三相交流 210V	60 Hz	
パワーユニット	HVH-820C形・	22kW (連続定格)	
ツリ車	(径) 480mm		
ソラセ車	上部(径) 480mm・下部(径)	560mm	
ローフ	(径) 12mm×3本・2:4ローピング		
停止箇所	1.2階	計2箇所	
レール	カゴ側 13kg/m・ジャッキ側	5kg/m	
カゴ内法	間口 1300mm×奥行	2300mm	
出入口	幅 1100mm×高サ	2100mm	
戸形式	二枚戸二枚片開キ		
戸閉方式	電動式		
緩衝器	バネ式		
特記	地震時管制運転、火災時管制運転、視覚障害者対策付 保護カバー・床マット、カゴ内床内板、点検点検付		

除外工事事項

昇降路	1. 昇降路の築造及び各階乗場（インジケータ・押しボタン用穴、機械室への配管穴を含む）穴あけ工事
	2. 中間ビームの設置工事
建築工事関係	3. シリンダ穴の掘削ならびに保護管埋設工事（直接方式の場合）
	4. 鉄骨構造、PC構造の昇降路では、各階のレール支持用形鋼設置工事又は、インサート埋込み工事及び、乗場器具支持用形鋼設置工事
機械室	5. 各階乗場の出入口枠周囲のモルタル詰め工事
	6. エレベーター据付後の乗場壁廻りおよび床、その他の補修工事
設備工事	7. ビット内防水工事（必要に応じて排水工事を含む）
	8. ビットが深い場合の埋戻し工事
	9. 通過階のある場合の非常口設置工事
	1. 機械室の築造工事および同出入口設置工事（必要のあるときは防音対策工事を含む）
	2. 消防法、危険物取扱い規則、他による下記工事
	(1) 甲種防火戸・機械室出入口の戸は甲種防火戸、自閉式（ドアチェック付でも可）を施工とする。
	(2) 漏油防止防止壁・タンクの油が全量漏れても室外へ流出せぬよう、機械室出入口敷居を高くする（200mm）
	(3) 換気口・防火ダンパー付のガラリまたはファン（サーモスイッチ付）を対称で有効な位置に取付ける。なお、窓を付ける時はスチールサッシ製で網入りガラスとする。
	4. 消火器設備・機械室及び最下階乗場にそれぞれ1個完備する（ABC粉末消火器3.5キロ1個が適当）
	3. 機械室床配管後のコンクリート打設工事及び防塵工事
	4. 機械室出入口の設備及びその復旧工事
	5. 消防署の指導による機械室安全対策工事
	1. 機械室エレベーター制御室までの動力電源、照明電源、接地線の引き込み並びに懸き込み工事
	2. 昇降路外部のインターホン・その他エレベーターに必要な配管配線工事
	3. 機械室の照明設備工事



1. 常電圧の変動は+5%～10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと。
2. 機械室と昇降路内温度は40℃、湿度は月平均90%、日平均95%を超えないこと。
3. 機械室と昇降路は有害ガスや甚しい塵埃などが入らないこと。
4. 木エレベーター機械室内機器の発熱量は(4100)Kcal/Hとなりますので
最高室温を40℃以下に保つ様換気設備を設置下さい。
5. 昇降路壁には電気・水道等の配管・器具を埋め込まないでください。
外部インターホン取付位置

車椅子対策	○専用乗場ボタン
	○カゴ内専用操作盤(左右2面)
	○カゴ内鏡
	○カゴ内手招
	○光電装置(カゴ出入口2段)

視覚障害者 対策	○到着階数報置装置(ANN)
	○乗場到着予報チャイム
	○点字名板 (一般用乗場ボタン及び カゴ操作盤に設置) 材質(アルミニウム)
	○感触マット(カゴ出入口部)

NO. 1

向先 俱立養護老人ホーム来寮 改築工事向

県立養護老人ホーム母来寮改築 電気設備工事		設計番号 E-36/36	客先号機 1	社内号機 101	3RD ANGLE 第三角法 PROJECTION	DIM IN mm	尺度 1/20 1/50	SCALE 作成日付 DATE 4.12.9	W750-2S-45(S)	据付図	右下
完成図		図面番号 E-36			MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION						
工場の設備図		縮尺 1/20 1/50			作成 DRAWN	照査 CHECKED	設計 DESIGNED	検認 APPROVED		KA570C156	
検図	担当	設計年月日 H5.11			高長	高長	高長	高長			